

木材(家具)工場のQC監査を開始しました！

衣料品と同様、日用品や家具の工場でも工場QC監査をスタートします。つきまして、木材(家具)工場のQC監査を開始しました。工場での問題、お悩みに対して、課題を洗い出し、改善ポイントを提示いたします。



こんな企業様におすすめ！

工場を変更するが実態がわからない

中々工場を見に行けない

検品工場での不良率が高い

出張コストが増大中



木材に特化した課題に対して監査するケン！

木材は水の影響を受けて変形しやすいから、水分の影響を受けないように工場がちゃんと管理できているか、確認するケン！！



トラブル事例

木製の組み立て家具において、購入後に消費者から、パーツが変形して組み立てられないとクレームが発生。すでに水分率管理された木材を購入していたため、購入した木材の水分率を確認せずに組み立て家具パーツを作っていたが、木材屋さんが未乾燥の木材を誤って販売していた。



このようなトラブルが発生しない為に、チェックリストにて事前に評価し、問題点について改善策を検討するケン！

事前にチェックすることが大切なのね！



■ チェックリスト(例)

評価項目	確認内容	評価
入荷時や集成材接着時、木材の水分率を確認しているか、記録はあるか。	入荷時に木材の水分率を測定し、規定内か確認及び記録保管しているか確認する。	×

改善策(例)

入荷時に規定の水分率かどうか確認を実施し、また工場内でも水分率が規定範囲に収まるように保管・管理を行う。また確認した内容を記録し、定期的に点検を実施する。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

